

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	小野路公園グループ(3施設)		
施設概要	小野路公園 【所在地】町田市小野路町2023-1 【開設年月】2006年4月1日 【施設面積】76,219.88㎡ 【施設内容】管理棟、会議室、小野路球場、小野路グラウンド、駐車場、トイレ棟、倉庫、電光得点表示板等		
	鶴川中央公園 【所在地】町田市鶴川6-6 【開設年月】1968年8月1日 【施設面積】19,719.89㎡ 【施設内容】管理棟、鶴川球場、鶴川中央公園テニスコート、屋外トイレ、芝生広場、遊戯広場等		
	鶴川1号緑地 【所在地】町田市鶴川3-2-2 【開設年月】2008年6月3日 【施設面積】5,534.18㎡ 【施設内容】鶴川第2テニスコート、緑地		
設置目的	豊かな自然環境を保全し、運動施設を有効活用することによって市民のリラゼーションとスポーツ振興、心身健康維持・増進を図るため。		
設置根拠法令・条例	都市公園法、町田市立公園条例		
所管部課	都市づくり部公園緑地課	問合せ先	042-724-4399
施設ホームページURL	https://www.onojikouen.com/		

(2)指定管理者

指定管理者名	株式会社ギオン・株式会社富士グリーンテック・ファシリティパートナーズ株式会社・株式会社東京総合造園・特定非営利活動法人アスレチッククラブ 町田共同事業体<チーム町田>	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表団体 株式会社ギオン) 神奈川県相模原市中央区南橋本1-5-1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	運営業務……都市公園の運営、有料施設の貸出し等 維持管理業務……施設の維持管理、園地の維持管理等 自主事業……公園の活性化や利用者サービスの向上に繋がる事業 利用料金の徴収等……券売機の利用料金収納等 その他の事業……各種報告書の作成・提出、事故の対応・報告等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
屋外運動施設の利用率を10%程度向上(テニスコートを除く)	2020年度～2021年度	5.4%減少
樹木医による定期的な緑地等の調査を行い、維持管理計画へ反映させる	2023年度	検討中
プロスポーツ選手との交流イベント(ゼルビア・ジャイアンツとの協働)	2023年度	検討中

3. 昨年度の課題

内容	利用者アンケート調査の結果等を基に利用者のお声に迅速に対応することで利用者満足度を改善し、特に平日の稼働率向上へとつなげていく。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	選定時の提案である運動施設の利用率について、小野路グラウンドではFC町田ゼルビアの利用減少により利用率は減少したものの、昨年度の課題でもあった小野路球場における平日利用率は、自主事業の活用や新規利用者の受け入れを積極的に行ったことなどにより、38.5%から44.3%へ5.8ポイント向上する結果となった。 自主事業については、早朝野球・どんぐり教室など新規事業の展開や、体操教室の実施体制を見直したことにより、参加者数が大幅に増加した。 引き続き新たな事業展開や新規利用者の獲得などを図り、施設利用率の向上に努める必要がある。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	利用者満足度向上を目指し、職員のスキル・待遇・利用者サービスの向上及び利用環境の改善に積極的に取り組んだ結果、利用者満足度は94%を超え、高い目標を達成することができた。FC町田ゼルビアの練習グラウンド変更や、2月末からの新型コロナウイルスの影響などの要因により利用者数や利用率が落ち込んでしまったが、次年度以降は大学の野球大会の誘致や、スポーツ以外での利用も積極的に受け入れることで向上させていく。 前年度から市内外問わず、新規団体登録数が増えており、継続的にご利用いただけるよう、施設の整備・清掃により力を入れていく。 また、鶴川中央公園芝生広場で自主事業として実施した「どんぐり教室」が非常に好評だったこともあり、冬季の「野球場芝生開放」も含めて、地域の方々と触れ合えるような事業も多く展開していく。 各施設ともに老朽化や経年劣化による故障等が見られるため、巡回による不具合箇所の早期発見に努めるとともに予防修繕を含めた計画的修繕・メンテナンスを強化していく。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2019年9月11日～9月30日及び2020年3月10日～3月27日 【配布枚数】 1,050枚 【回収枚数】 698枚 【回収率】 66.4% 【調査方法】 利用受付時に手渡し、利用終了時に回収
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	回答結果の「良い」「やや良い」の割合 A: 90%以上 B: 70%以上90%未満 C: 70%未満	90%	94.3%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	94.3				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
施設稼働率(小野路グラウンド・小野路球場、鶴川球場、鶴川中央公園テニスコート、鶴川第2テニスコートの年間施設利用率)	A: 75%以上 B: 55%以上75%未満 C: 55%未満	75%	61.5%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	75	75	75	75	75
実績値	61.5				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
自主事業参加人数(小野路公園、鶴川中央公園、鶴川1号緑地の参加人数)	A: 4,400人以上 B: 3,600人以上4,400人以下 C: 3,600人以下	4,400人	4,074人	B	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
実績値	4,074				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	新型コロナウイルス感染症の影響による大会の中止や、小野路グラウンドでのFC町田ゼルビアの利用減少などにより、グループ全体の運動施設稼働率は2018年度と比較して5.4ポイント減少し61.5%となり、利用数は43,864人となった。引き続き施設稼働率の向上に努める必要がある。自主事業については、体操教室の実施体制の見直しにより、体操教室の参加者数が2018年度と比較して57.6ポイント増加し3,089人となるなど、積極的な活用を図った。その他、概ね水準どおりである。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	条例・規則の遵守	利用時間、休館日・休場日、利用料金は条例・規則を遵守している。	基準書の管理運営基本方針を理解し、適切に行われている。	適
	有料公園施設の貸し出し	施設案内予約システムの管理運営のルールを厳守している。	事業の開催にあたっては、市民利用とのバランスを考慮し、適切に行われている。	適
施設・設備の管理運営方針	植生管理	仕様書にある作業計画表どおりの管理ができています。	日々の運営の中で気付いたことなどを定例会で取り上げ、より効果的な作業を実施している。	適
	施設・設備の維持管理	仕様書にある作業計画表どおりの管理ができています。	仕様書に基づいた管理とともに、イレギュラーな事態にも迅速に対応している。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開の体制	情報公開請求に対する体制が整っている。	公開請求があった場合に早急な対応ができるよう書類の整理を徹底し、情報公開マニュアルを作成している。	適
	個人情報保護	重要書類は保管庫にて施錠管理されている。	個人情報に関する書類は事務所で保管している。定期的研修を実施している。次回は2020年度に実施予定。	適
要望対応	要望、苦情の報告	市にすべて報告を行っている。	随時電話で報告するとともに、毎月の定例報告にて、その後についても市と共有している。	適
	要望、苦情の記録	要望・苦情内容、対応内容を記録している。	電話、お声、アンケート等でいただいた要望苦情とそれに対する対応結果をすべて記録し、ファイルしている。	適
危機管理	災害等緊急時の体制	災害時における対応ルールが決められている。	緊急対応マニュアルを作成し、それに基づいて2月に防災訓練を実施している。	適
	危険箇所の把握	危険箇所発見に向けた取り組みを行っている。	研修内で園内の危険箇所について職員全員で話し合い、予防対応している。	適
人的安定性	人員配置	事業計画書どおりの体制が整っている。	基準書どおり責任者1名を配置し、必要な資格を有している。	適
	研修体制	研修会が実施されている。	職員全員が2月に研修に参加している。	適
管理経費の縮減	施設維持費の縮減	施設維持費縮減を実施している。	公の施設の意義を損なわないよう料金設定をし、適切な経費見積もりがなされている。	適
	光熱水費の縮減	光熱水費縮減を実施している。	巡回を積極的に行い、節電・節水に努めている。	適
地元貢献	地域交流	地域、関係機関、ボランティア等との交流を行っている。	自主事業「どんぐり教室」「球場芝生開放」などで、地域の方々と触れ合う場を設けている。	適
	市内業者の活用	資材調達等を市内の業者から行っている。	消耗品購入の際に可能な限り市内業者を選定している。	適
業務履行状況の確認結果(適否)		所管課所見		
適		要求水準を満たしていることを、事業報告書、ヒアリングにて確認した		

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	44,456	45,276	45,613		46,888		48,163		49,438	
	利用料金	29,100	31,837	29,100		32,100		32,100		32,100	
	自主事業	3,127	1,492	3,127		3,127		3,127		3,127	
	その他	171	155	171		171		171		171	
	計	76,854	78,760	78,011	0	82,286	0	83,561	0	84,836	0
支出	人件費	25,500	32,591	26,775		31,050		32,325		33,600	
	維持管理経費	48,227	44,791	48,109		48,109		48,109		48,109	
	自主事業	1,764	102	1,764		1,764		1,764		1,764	
	その他	0	0	0		0		0		0	
	計	75,491	77,484	76,648	0	80,923	0	82,198	0	83,473	0
総計(収入-支出)	1,363	1,276	1,363	0	1,363	0	1,363	0	1,363	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	4.3				
負債比率	36.4				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	台風による緊急対応のため予算を上回る決算となったが、指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。